

デジタル田園都市国家構想交付金の効果検証等及び 新しい地方経済・生活環境創生交付金について

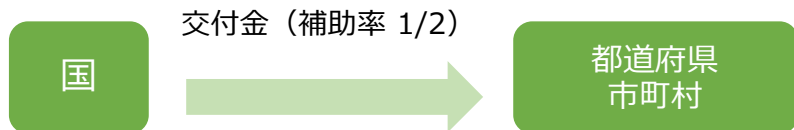
魚沼市

- デジタル田園都市国家構想交付金は、デジタル技術の活用により、地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化することを目的として、地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金及びデジタル田園都市国家構想推進交付金を再編・統合し、令和4年度第2次補正予算において新たに創設されたものである。
- 魚沼市においても、総合計画に位置付けられた施策・事業を効果的かつ効率的に推進するための財源として、本交付金を活用している。
- また、本交付金の活用にあたっては、事業ごとのKPI（重要業績評価指標）を設定し、その達成状況を検証するとともに、PDCAサイクルに基づき事業の改善を図ることが求められている。

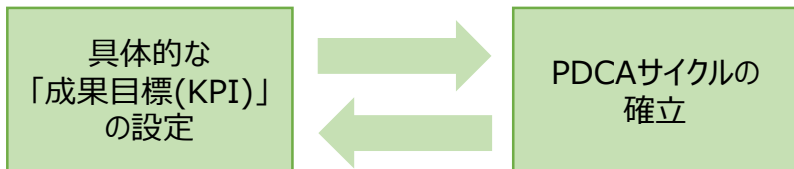
制度概要・目的

- デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組(主にソフト事業)を支援
- 地域再生法に基づく法定補助の交付金として、安定的な制度及び運用を確保

【資金の流れ】



【PDCAサイクルによる事業実施】



対象事業等

【対象事業等】

自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の要素を有する取組等(先駆型・Society5.0型：最長5年間、横展開型：最長3年間)

事業分野例)

農林水産、観光振興、ローカルイノベーション、地方への人の流れ、働き方改革、まちづくり

	交付上限額	申請上限件数
都道府県	先駆 3.0億円 横展開 1.0億円	原則 4 事業
中枢中核都市	先駆 2.5億円 横展開 0.85億円	原則 3 事業
市町村	先駆 2.0億円 横展開 0.7億円	原則 2 事業

※ Society5.0タイプは都道府県・中枢中核都市・市町村ともに交付上限額（国費）3.0億円、申請上限件数の枠外

地方創生推進タイプ

(単位：円)

No.	事業名称	新規・継続	事業期間	事業費(実績)	精算払請求額
1	半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光×（エクス）圏創生プロジェクト ※	継続	R6～R8	1,769,735	883,000
合計				1,769,735	883,000

※ 只見町、南会津町、金山町、三条市及び魚沼市による広域連携事業（代表自治体：只見町）

デジタル田園都市国家構想交付金令和6年度事業の概要

魚沼市

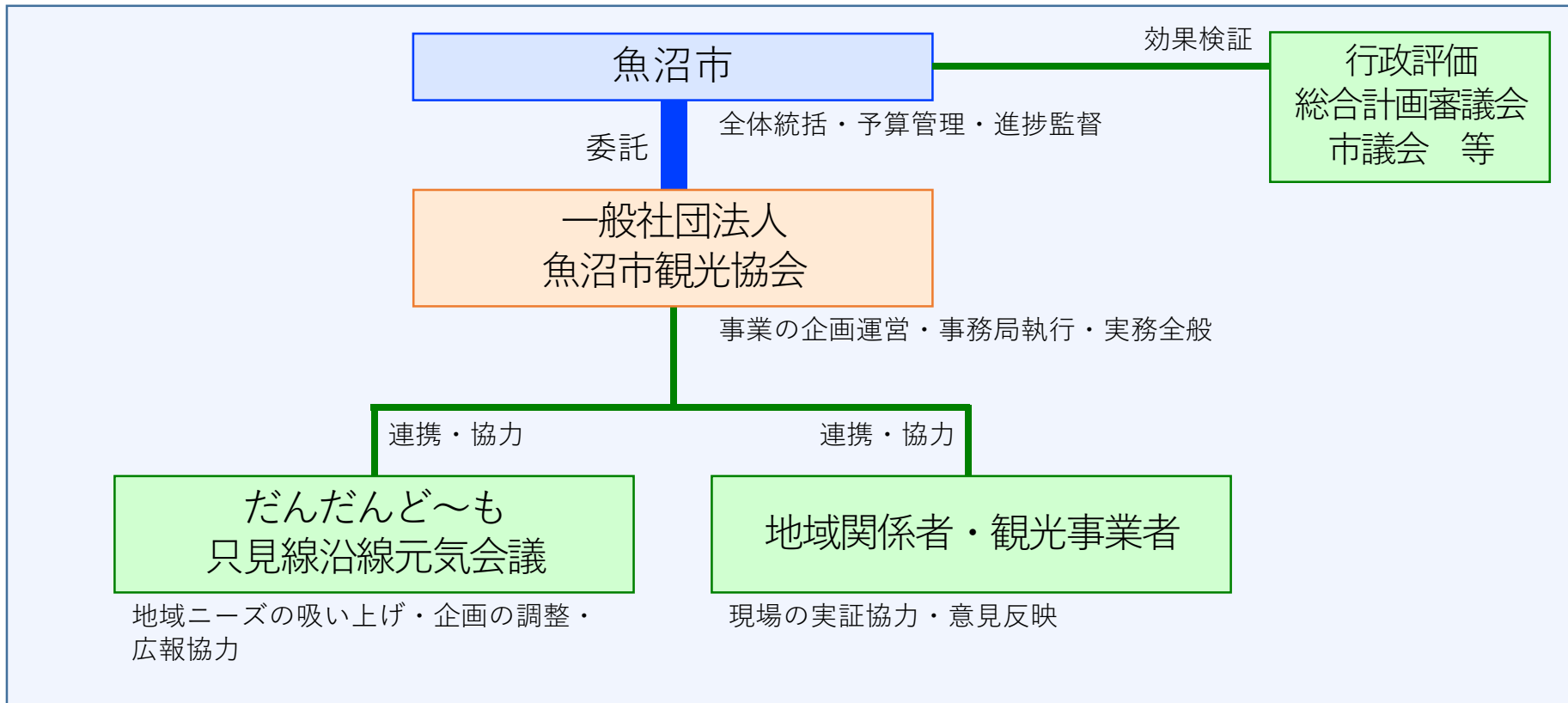
事業名	半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光X（エックス）圏創生プロジェクト※
事業内容	令和8~9年に開通する八十里越街道、只見線沿線から面的な広域観光エリア圏を構築し、地域内経済循環と自立（持続）可能な観光産業・組織の作成及び地域観光経済効果を増加するための取組を行うもの。

個別事業	R6事業費	R6年度交付金
只見線小出駅おもてなし臨時観光案内 観光案内所解説業務委託(委託費)	843,700円	883,000円
只見線へみんなで手を振ろう運動 運動推進業務委託(委託費)	270,435円	
只見線特別列車モニターツアー催行 モニターツアー催行業務委託(委託費)	655,600円	

※只見町、南会津町、金山町、三条市及び魚沼市による広域連携事業（代表自治体：只見町）

「半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな 広域観光×（エクス）圏創生プロジェクト」の実施体制

魚沼市



デジタル田園都市国家構想交付金令和6年度事業KPIの実績及び改善方策

魚沼市

事業名	半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光X（エックス）圏創生プロジェクト※
事業内容	令和8~9年に開通する八十里越街道、只見線沿線から面的な広域観光エリア圏を構築し、地域内経済循環と自立（持続）可能な観光産業・組織の作成及び地域観光経済効果を増加するための取組を行うもの。

個別事業	KPI（重要業績評価指標）	R6年度目標値	R6年度実績値
<ul style="list-style-type: none"> ・只見線小出駅おもてなし臨時観光案内 ・只見線へみんなで手を振ろう運動 ・只見線特別列車モニターツアー催行 	地域における観光消費額	87,196,413千円	84,180,499千円
	只見線乗車人数（区間平均通過人数）	210人	153人
	各市町移住者（UIターン）の人数	508人	677人
	八十里越街道関連観光コンテンツ数	6件	5件

※只見町、南会津町、金山町、三条市及び魚沼市による広域連携事業（代表自治体：只見町）

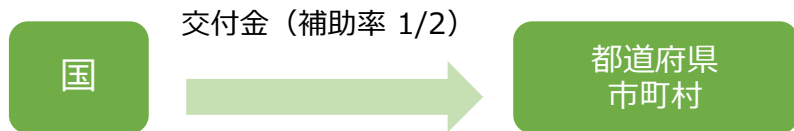
改善方策	令和8~9年に開通する八十里越街道、只見線沿線から面的な広域観光エリア圏を構築し、地域内経済循環と自立（持続）可能な観光産業・組織の作成及び地域観光経済効果を増加するための取組を行う。
------	--

- 新しい地方経済・生活環境創生交付金は、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づき、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する取組を計画から実施まで強力に後押しすることを目的として、デジタル田園都市国家構想推進交付金を発展させ、令和6年度補正予算において新たに創設されたものである。
- 魚沼市においても、総合計画に位置付けられた施策・事業を効果的かつ効率的に推進するための財源として、本交付金を活用している。
- また、本交付金の活用にあたっては、事業ごとのKPI（重要業績評価指標）を設定し、その達成状況や事業効果を検証するとともに、検証結果を踏まえて事業の改善を図ることが求められている。

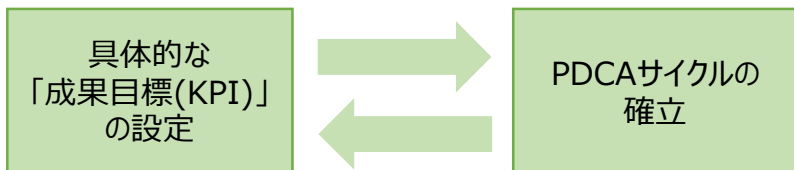
制度概要・目的

- 地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域の独自の取組を支援
- ソフト+ハードや分野間連携の事業を一体的に支援するとともに、国による伴走支援を強化

【資金の流れ】



【PDCAサイクルによる事業実施】



対象事業等

【対象事業等】

地方版総合戦略に基づき、目指す将来像及び課題の設定等、KPI設定の適切性に加え、自立性、地域の多様な主体の参画等の要素を有する事業。

ソフト事業：原則3か年度以内（最長5か年度）

拠点整備：原則3か年度以内（最長5か年度）

インフラ整備：原則5か年度以内（最長7か年度）

事業分野例） 農林水産、観光振興、ローカルイノベーション、地方への人の流れ、働き方改革、まちづくり

	交付上限額
都道府県	ソフト 15億円/年度 拠点整備 15億円/年度 インフラ整備 50億円（単年度目安10億円）
中枢中核都市	ソフト 15億円/年度 拠点整備 15億円/年度 インフラ整備 20億円（単年度目安4億円）
市町村	ソフト 10億円/年度 拠点整備 10億円/年度 インフラ整備 10億円（単年度目安2億円）

※ 新規事業の通常の申請上限件数は、自治体の規模を問わず10件とする。一定の条件を満たす事業については、枠外として2件の申請を可能とする。

第2世代交付金

(単位：円)

No.	事業名称	新規・継続	事業期間	事業費	交付決定額
1	半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光X（エクス）圏創生プロジェクト ※	継続	R6～R8	1,748,000	874,000
合計				1,748,000	874,000

※ 只見町、南会津町、金山町、三条市及び魚沼市による広域連携事業（代表自治体：只見町）